

3 特殊分類別（財別）鉱工業生産及び生産者製品在庫の動き

1 最終需要財

平成 17 年の県内最終需要財の生産指数は 96.0 で、対前年比 0.0%でした。（表 4）

また、在庫指数は 107.7 で、対前年比 12.2%上昇しました。（表 6）

1-1 投資財

平成 17 年の県内投資財の生産指数は 93.5 で対前年比 1.2%低下しました。（表 4）

また、在庫指数は 97.9 で対前年比 3.8%上昇しました。（表 6）

1-1-1 資本財

平成 17 年の県内資本財の生産指数は 101.4 で、対前年比 0.9%上昇しました。（表 4）

四半期別にみますと、1 期は 99.4（対前期比 2.4%減）、2 期は 102.6（同 3.2%増）、3 期は 102.7（同 0.1%増）、4 期は 101.5（同 1.2%減）となります。（表 8）

また、在庫指数の年平均は 110.4 で、対前年比 0.7%上昇しました。（表 6）

四半期別にみますと、1 期は 112.2（対前期比 0.8%減）、2 期は 109.4（同 2.5%減）、3 期は 104.0（同 4.9%減）、4 期は 117.5（同 13.0%増）となります。（表 10）

1-1-2 建設財

平成 17 年の県内建設財の生産指数は 84.8 で、対前年比 3.7%低下しました。（表 4）

四半期別にみますと、1 期は 85.8（対前期比 5.9%減）、2 期は 86.3（同 0.6%増）、3 期は 83.3（同 3.5%減）、4 期は 84.2（同 1.1%増）となります。（表 8）

また、在庫指数の年平均は 85.1 で、対前年比 8.0%上昇しました。（表 6）

四半期別にみますと、1 期は 80.1（対前期比 3.4%増）、2 期は 85.3（同 6.5%増）、3 期は 86.9（同 1.9%増）、4 期は 88.2（同 1.5%増）となります。（表 10）

1-2 消費財

平成 17 年の県内消費財の生産指数は 98.9 で、対前年比 1.1%上昇しました。（表 4）

また、在庫指数は 119.1 で、対前年比 21.4%上昇しました。（表 6）

1-2-1 耐久消費財

平成 17 年の県内耐久消費財の生産指数は 101.9 で、対前年比 2.9%上昇しました。（表 4）

四半期別にみますと、1 期は 111.6（対前期比 6.7%増）、2 期は 102.3（同 8.3%減）、3 期は 95.5（同 6.6%減）、4 期は 97.9（同 2.5%増）となります。（表 8）

また、在庫指数の年平均は 133.9 で、対前年比 29.7%上昇しました。（表 6）

四半期別にみますと、1 期は 140.2（対前期比 19.3%増）、2 期は 151.5（同 8.1%増）、3 期は 110.2（同 27.3%減）、4 期は 145.5（同 32.0%増）となります。（表 10）

1-2-2 非耐久消費財

平成 17 年の県内非耐久消費財の生産指数は 94.4 で、対前年比 1.7%低下しました。(表 4)

四半期別にみますと、1 期は 95.8 (対前期比 0.5%減)、2 期は 96.8 (同 1.0%増)、3 期は 94.5 (同 2.4%減)、4 期は 90.6 (同 4.1%減) となります。(表 8)

また、在庫指数の年平均は 79.9 で、対前年比 5.4%低下しました。(表 6)

四半期別にみますと、1 期は 81.1 (対前期比 0.9%減)、2 期は 78.5 (同 3.2%減)、3 期は 77.3 (同 1.5%減)、4 期は 82.9 (同 7.2%増) となります。(表 10)

2 生産財

平成 17 年の県内生産財の生産指数は 164.9 で、対前年比 15.5%上昇しました。(表 4)

また、在庫指数は 716.4 で、対前年比 122.8%上昇しました。(表 6)

2-1 鉱工業用生産財

平成 17 年の県内鉱工業用生産財の生産指数は 166.4 で、対前年比 15.6%上昇しました。(表 4)

四半期別にみますと、1 期は 154.6 (対前期比 7.1%増)、2 期は 157.0 (同 1.6%増)、3 期は 170.2 (同 8.4%増)、4 期は 181.9 (同 6.9%増) となります。(表 8)

また、在庫指数の年平均は 739.5 で、対前年比 123.9%上昇しました。(表 6)

四半期別にみますと、1 期は 436.4 (対前期比 2.5%減)、2 期は 834.0 (同 91.1%増)、3 期は 820.1 (同 1.7%減)、4 期は 828.7 (同 1.0%増) となります。(表 10)

2-2 その他用生産財

平成 17 年の県内その他用生産財の生産指数は 83.5 で、対前年比 5.2%低下しました。(表 4)

四半期別にみますと、1 期は 83.2 (対前期比 2.5%減)、2 期は 82.4 (同 1.0%減)、3 期は 85.4 (同 3.6%増)、4 期は 83.5 (同 2.2%減) となります。(表 8)

また、在庫指数の年平均は 71.6 で、対前年比 9.0%低下しました。(表 6)

四半期別にみますと、1 期は 70.5 (対前期比 6.0%減)、2 期は 67.7 (同 4.0%減)、3 期は 72.7 (同 7.4%増)、4 期は 75.5 (同 3.9%増) となります。(表 10)



「季節調整」 とは？

指数には「原指数」と「季節調整済指数」の 2 種類がある事にお気づきでしょうか？

例年、年末年始のある 12 月、1 月、ゴールデンウィークのある 4、5 月、お盆休みのある 8 月は勤務日数が少ない為、生産活動が低下するといわれていますが、本当にそれを生産水準の低下と考えて良いのでしょうか？

鉱工業の生産は、季節的な要因や社会的慣習等により 1 年を周期として変動するので、前月や前四半期との比較を行なう場合には、そのような季節要因をとり除く必要があります。これを「季節調整」といいます。